



アジア太平洋における不拡散協力のための透明性技術

- 地域での信頼醸成に向けたリモートモニタリングと安全性の高い通信の適用 -

共催：日本原子力研究開発機構 核不拡散科学技術センター(JAEA/NPSTC)
東京大学グローバル COE「世界を先導する原子力教育研究イニシアチブ(GoNERI)

2008 年 2 月 20～22 日

一日目- 全体セッション (一般公開)

要領：概要紹介、各プレゼン発表、パネルディスカッション

核不拡散に関連する信頼性・透明性向上に関して、各国からの招待講演者からの講演発表を予定しております。それに引き続くパネルディスカッションでは、“透明性：その役割とタイプ、定義、そして地域協力における手段と適用”について更に深めた議論を行う予定としています。

会場：東京大学 本郷キャンパス 山上会館 大会議室

9:00-9:30 開場、受付登録

9:30-9:45 開会挨拶
- 千崎雅生(JAEA/NPSTC)
- 岡芳明(東京大学 G-COE)

9:45-9:50 WS 概要とプレゼンテーションについて
- モデレーター：久野祐輔 JAEA/NPSTC、東京大学

9:50-10:15 東アジア地域での米国エネルギー省による技術協力の取り組み
- 環太平洋地域での協力活動
- 発表者調整中(米国エネルギー省：USDOE)

10:15-10:40 技術ベースでのビルトイン透明性アプローチ
- Wan-Ki Yoon (韓国核不拡散核物質管理院：KINAC)

10:40-11:05 今後の原子力利用開発国からの展望と透明性
- Ir. Karyono HS (インドネシア原子力庁：BATAN)

11:05-11:30 今後の原子力利用開発国からの展望と透明性
- Le Doan Phac (ベトナム原子力委員会：VAEC)

- 11:30-11:50 **「透明性及びオープンネス」**
- Stephan Bayer (オーストラリア保障措置不拡散局(ASNO)) 論文紹介
D. Betsill (JAEA)
- 11:50-11:55 **事務局からのアナウンス**
- 11:55-13:30 **昼食**
- 13:30-13:55 **IAEA の展望と不拡散における透明性の活用**
- 発表者調整中 (国際原子力機関:IAEA)
- 13:55-14:20 **東アジアと環太平洋での透明性**
- Brad Glosserman (米国戦略国際問題研究所:CSIS/ PacForum)
- 14:20-14:40 **パネルセッションとトピックの紹介ー透明性とその活用法と定義**
- 久野祐輔 (JAEA/NPSTC ,東京大学)
- 14:40-15:10 **コーヒーブレイク**
- 15:10-16:50 **パネルディスカッションー透明性:その役割、タイプ、手段、地域協力での適用**
- モデレーター:堀雅人 (JAEA/NPSTC)
- パネリスト:午前、午後の発表者
- パネリストへの事前に提出された質問と回答、質疑応答
- 16:50-17:00 **閉会**
- 千崎雅生(JAEA/NPSTC)
- 17:30-19:30 **レセプション**
講演者・パネリスト以外の参加者には会費の自己負担をお願いします。
ご了解ください。



二日目 - 技術セッション (招待者のみ)

要領:透明性技術プレゼンテーション、技術デモンストレーション、専門家によるディスカッション

技術に焦点を当て、プレゼンテーション、技術的デモンストレーション、専門家グループによる議論を行います。一日目からの専門家グループ(約 20 名)で、核不拡散推進・透明性向上に向けた実践的技術的課題と解決に焦点を当てた議論を行う予定です。

会場:東京大学 本郷キャンパス 山上会館 会議室 201/202
(約 20 名程度の参加者 とオブザーバー)

三日目- 技術セッション (招待者のみ)

要領:テーブルトップエクササイズ

三日目は、ある仮定の条件下で地域での透明性ネットワークをどのように構築すべきか、核不拡散・信頼性醸成・透明性向上に関係する、種々の立場・観点から、小グループでの議論(テーブルトップエクササイズ)を行う予定です。

この討議には、専門家グループも参加し、それぞれの専門的な立場からの意見・コメントを頂き、議論を深めることを企画しております。

このセッションには、東京大学大学院原子力専攻を中心として大学院生の参加を予定しています。

会場:東京大学 本郷キャンパス 山上会館 会議室 201/202
(約 20 名程度の参加者 とオブザーバー)